

(公財) 日本体操協会

平成28年度第1回定時評議員会議事録

1. 日 時 平成28年6月26日(日) 13時00分～14時20分

2. 場 所 岸記念体育会館5F 504～505会議室

3.出席者 <評議員>

出 席

小野 喬、大島斎礼、早田卓次、加藤澤男、朝倉正昭、柳善二郎、
長澤稔子、福本 隆、三畑武一、森田弘文、三輪康廣、大橋英記、
渡邊一郎、田中誠一、立藤三千洋、森玲子、竹谷 一、知念義雄
18名

欠 席

滝澤康二、小篠弘子、寺田千代乃、林 直樹、山岸弘宜、藤田正敏、
関貫 勉 7名

<理事・監事:>

出 席

二木英徳会長、塚原光男副会長、具志堅幸司副会長、石崎朔子副会長、
渡辺守成専務理事、遠藤幸一常務理事、監物永三監事 7名

4.資料の確認

審議事項

- 第1号議案 平成27年度事業報告 (資料1)
- 第2号議案 平成27年度決算報告 (資料2)

報告事項

- 第1号議案 平成28年度協会政策方針 (資料3)
- 第2号議案 「日本代表選手・役員の行動規範」について (資料4)
- 第3号議案 トランポリン国体化に向けての登録状況報告 (資料5)

5.権限審査

定款第5章第24条に基づき本評議員会は評議員25名中、本日、出席評議員18名のため、評議員会開催の定足数（過半数）に達していることを渡邊事務局長報告。

6.議長選出

定款第4章第16条の定めにより、評議委員会議長は、評議員の中から選出すると定められており、早田卓次評議員が議長に選出された。

7.議事録署名人

定款第5章第26条に基づき、議長の早田卓次並びに、福本 隆・三畑武一評議員の3名を指名し、異議なく承認された。

8.審議事項

第1号議案 平成27年度事業報告（資料1）

議長の指名により、渡邊事務局は資料の説明を行った。

定款第4条（事業）をベースに公益目的事業および収益事業につき具体的な説明を行った。

公益目的事業比率は85%となった。（50%以上が公益最低条件）

1. 国際貢献事業
2. 競技力向上・選手派遣事業
3. 講習会・指導者養成・資格認定・検定事業
4. 競技会等開催事業
5. 顕彰事業

収益事業

1. マーケティング事業
2. 出版物販売事業

議長は質問・意見の有無を議場に諮った。

（大島評議員）アクロと男子新体操の融合について

- ・それぞれ、歴史・文化が異なる。現場では、融合困難との話もある。
- ・アクロの講習会等の実績記載がない。

(専務理事)

- ・議論を深めた上で決定した。世界選手権があるアクロとの融合を進める。
事実、昨年の大会では新体操・アクロが合同で大会を開催済み。息長く地道に推進していく。

(三畑評議員)

- ・アクロの普及等に向け、頑張ってやりたい。

、議長は第1号議案の承認採決を諮り、全員異議なく承認。
第1号議案は原案通り承認・可決された。

第2号議案 平成27年度決算報告(資料2)

議長の指名により、渡邊事務局が報告した。

決算報告は、決算概要資料に則り、要点を説明した。

1. 正味財産増減計算書

予算収支 37,873 千円に対し、実績 93,278 千円となった。

	予算	決算	前年度	(単位：千円)
経常収益	924,213	1,168,733	954,240	
経常費用	886,340	1,075,455	888,550	
経常増減	37,873	93,278	65,690	

- ・経常収益・経常費用の主要増減等について説明。

2. 貸借対照表

総資産 360,011 千円で前年度比 67,365 千円増加。

期末正味財産 217,218 千円で、前年度比 93,278 千円増加。

正味財産比率前年度 42.4%から 60.3%に向上。

- ・主要科目の内容につき説明。
- ・過去の経営数値等の説明。

渡邊事務局長の説明後、監物監事より、監事の監査報告書が報告された。

以上の報告を受け、議長は質問・意見の有無を議場に諮った。

(長澤評議員)・競技力強化(助成金関連)

- ・ターゲットエイジ体操女子が体操男子に比べ、極端に低い。原因は何か？

(専務理事)

- ・JOCの選考基準が前年度の実績が基準となっている。今回、ターゲットエイジ事業のの新規募集が体操女子の候補に挙がっている。ぜひ、獲得したい。
- ・新体操の事業費と助成費、協会負担額、ポラ等の収入の関連
事業費等とは別途の収入であり、新体操では17,768千円の回収増。

(大島評議員)・登録料について

- ・スポーツ安全協会での体操人員は23万人。減少していない。
- ・WEB登録方法を簡素化して、登録料の増収を図って欲しい。

、議長は、第2号議案の承認採決を議場に諮り、全員異議なく承認。
第2号議案は原案どおり、承認・可決された。

9.報告事項

第1号議案 平成28年度(鋼材)日本体操協会政策方針(資料3)

渡辺専務理事より、スクリーン映写により、スローガン“夢の実現”の報告があった。

リオの目標

男子体操：団体金メダル最重点目標、4つの金メダルを含む7つのメダル

女子体操：団体銅メダル獲得、種目別メダル獲得、個人総合8位入賞

新体操：団体メダルを最重点目標、個人総合8位入賞

トランポリン男子：メダル獲得

トランポリン女子：5位入賞

一般体操・スポーツアクロ・男子新体操・指導における暴力問題への対策
2020東京オリンピックと地域活性化

第2号議案 「日本代表選手・役員の行動規範」について(資料4)

遠藤常務総務委員長より、資料に則り、説明を行った。

趣旨・基本方針・行動規範

違反選手・役員に対する処分
アンチドーピングに関するガイドライン
メディア活動に関するガイドライン
肖像等使用に関するガイドライン

誓約書

現在、関係者取り寄せ中。

第3号議案 トランポリン国体化にむけての登録状況報告 (資料5)

渡邊事務局長より、資料5の説明を行った。

日本体育協会へのトランポリン競技者登録状況の報告であり、今回は2020鹿児島国体へむけての報告で、今後、毎年、報告を義務付けられる。今回報告は46都道府県 2,035名の報告。(昨年は43都道府県 1,408名)今回、6/17の日本体育協会の国体委員会で2019茨城国体でトランポリンの正式種目決定となった。関係者の努力とご協力に深く感謝する。なお、各県の組織の一本化等・普及は今後も大事な課題である。

(森田評議員)

・国体正式種目決定についての謝意。

今後、普及・発展に向け、努力して いく旨の意思表示。

第4号議案 その他

議長はその他提案議題等を議場に諮った。

1. 第81回 FIG 総会東京開催(2016年10月)において、渡辺専務理事が FIG 会長候補で立候補。日本として IF 会長は画期的なことであり、ぜひ成功させたい。二木会長からの報告。
2. 遠藤常務理事より、最新の国際大会成績報告。
 - ① 6/17-19 韓国 第14回世界エアロビック選手権男子シングルス 齊藤瑞己選手 日本人男子初の金メダル
 - ② トランポリン・WC スイス大会大会 伊藤・棟朝選手ペア 男子シンクロ 金メダル 中野・森ペア 銀メダル
 - ③ 男子ポルトガル国際 ゆか 谷川 航 銀メダル、山本翔一 銅メダル 振り輪 武田一志 銀メダル

10.閉会

議長は、すべての議案の終了を確認し、14時20分閉会を宣した。

平成28年6月26日

議事録署名人 早田 卓次

議事録署名人 福本 隆

議事録署名人 三畑 武一